

令和5年度当初予算編成と組織改正について

－ 「子育てするなら燕市で」と評価されるよう、様々な施策を展開します！ －

令和5年度は、第3次燕市総合計画の初年度となる大切な年です。限られた経営資源を効率的・効果的に配分する方針のもと、3つの人口戦略を柱に据え、急速な人口減少や、DX・脱炭素といった、本市を取り巻く社会潮流への対応を重点に予算配分しました。その結果、令和5年度一般会計当初予算の総額は431億9,000万円と、合併後最大となった令和4年度に次ぐ規模となりました。

なお、借換分を除いた「実質的な予算規模」376億9,685万円と、令和4年度の国庫支出金を活用して前倒しで補正計上している「繰越事業」18億5,299万円を合わせた「執行ベースの予算規模」は、395億4,984万円と合併後最大となっています。

特に、3つの人口戦略における主要事業31億9,923万円のうち、子育て支援および教育の充実に向けた主要事業には15億8,443万円の予算を計上しています。併せて、妊娠から出産、子育てまでの支援を一体的に行う「こども政策部」を新設する組織改正も予定しています

こうした各種施策の総合的な展開を通じて、市内外の方から「子育てするなら燕市で」と評価いただけるよう、全力で取り組んでまいります。

【令和5年度燕市当初予算の規模】

◆一般会計…431億9,000万円（合併後最大となった令和4年度に次ぐ規模）

会計名	令和5年度	対前年度増減額	増減率
一般会計 ①	431億9,000万円	▲23億5,700万円	▲5.2%
うち借換分 ②	54億9,315万円	▲15億6,854万円	▲22.2%
実質的な予算規模 ①-②	376億9,685万円	▲7億8,846万円	▲2.0%
繰越事業 ③	18億5,299万円	9億9,223万円	115.3%
執行ベース ①-②+③	395億4,984万円	2億377万円	0.5%

◆特別会計（4会計）総額…172億5,568万円

会計名	令和5年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険	70億6,284万円	▲9,757万円	▲1.4%
後期高齢者医療	10億1,963万円	3,942万円	4.0%
介護保険事業	91億299万円	▲1,229万円	▲0.1%
土地取得	7,022万円	▲1,669万円	▲19.2%
計	172億5,568万円	▲8,713万円	▲0.5%

本件についてのお問い合わせ先

企画財政部 企画財政課：米野・山崎
総務部 総務課：高宮
電話：0256-77-8356（企画財政課直通）
0256-77-8318（総務課直通）

【令和5年度当初予算の重点施策と主な新規・拡充事業】

『子育てするなら燕市で』と評価される施策の展開と『地域社会のDX』と『脱炭素社会の推進』を重点施策に位置づけ、引き続き「日本一輝いているまち」の実現を目指します。

<令和5年度 2つの重点施策>

① 『子育てするなら燕市で』と評価される施策の展開

- | | |
|--|-----------|
| 〈新規〉 全天候型子ども遊戯施設建設事業 | 7億2,763万円 |
| 子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる全天候型の屋内遊戯施設の本体工事を開始します。 | |
| 〈新規〉 出産・子育て応援事業 | 8,439万円 |
| 妊娠から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施します。 | |
| 〈新規〉 妊産婦タクシークーポン事業 | 600万円 |
| 妊婦・産婦健診受診時の移動を支援するため、タクシークーポンを発行します。 | |
| 〈拡充〉 子どもの入院医療費の全額助成 | 4億2,688万円 |
| 18歳までの子どもを対象に入院医療費助成を全額助成に拡充し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 | |
| 〈新規〉 STEAM教育推進モデル事業 | 250万円 |
| STEAM教育を推進するためのモデル事業を、民間企業との協働により実施します。 | |

② 『地域社会のDX』と『脱炭素社会の推進』

- | | |
|---|---------|
| 〈拡充〉 DX推進体制の強化 | 2,195万円 |
| プロジェクトチームの立ち上げや外部人材の増員などにより、DX推進体制の強化を図ります。 | |
| 〈新規〉 電子契約システムの導入 | 71万円 |
| 契約業務を順次オンライン化し、相手方の利便性向上と事務処理の効率化・コスト削減を図ります。 | |
| 〈拡充〉 中小企業DX推進支援事業 | 2,033万円 |
| 市内中小企業のDXを支援し、生産性向上や競争力強化を図ります。 | |
| 〈新規〉 自家消費型太陽光発電利用促進補助事業 | 500万円 |
| 市内事業者が自家消費用に設置する太陽光発電設備に対して、補助金を交付します。 | |

その他の目玉事業

- | | |
|---|---------|
| 〈新規〉 保育士等修学資金貸付事業 | 601万円 |
| 市内で保育士を目指す学生に対して、返還が免除となる修学資金の貸し付けを行います。 | |
| 〈臨時〉 給食費保護者負担の軽減 | 3,720万円 |
| 園・学校における給食材料費の価格上昇相当分を市が負担することで給食費を据え置きます。 | |
| 〈新規〉 医療用補正具購入費助成事業 | 272万円 |
| がん患者の経済的・精神的な負担の軽減を図るため、胸部補正下着やウィッグ等の購入費用を補助します。 | |
| 〈新規〉 高齢者の権利擁護アドバイザー事業 | 27万円 |
| 県弁護士会と地域包括支援センターとの連携により、高齢者の権利を守る体制の構築を図ります。 | |
| 〈新規〉 ヤングケアラーサポート事業 | 14万円 |
| ヤングケアラーへの支援方法の検討や、支援に関する周知・啓発を行います。 | |
| 〈拡充〉 つばめJOBサポート事業 | 623万円 |
| 多様な人材が活躍できるよう、新たに市内企業の職場環境改善への支援や人材のマッチングを促進します。 | |
| 〈新規〉 燕青空即売会ツアー造成支援事業 | 100万円 |
| 燕青空即売会をコースに組み込んだ募集型バスツアーにかかる経費の一部を補助します。 | |
| 〈新規〉 燕ソウルフード観光プロモーション事業 | 300万円 |
| 文化庁の「未来の100年フード」に認定された背脂ラーメンを観光資源としたキャンペーンを実施します。 | |

【「こども政策部」の新設について】

- ・妊娠から出産・子育てまでの支援を一体的に行う「こども政策部」を市長部局に新設します。
- ・こども政策部には、保育園の運営などを行う「こども未来課」と、児童手当や母子保健事業、相談窓口などの業務を行う「子育て応援課」を設置し、人員体制は、庁舎関係職員約40名に保育士などの保育関係職員約150名を合わせた190名規模となります。（市役所職員約600名）
- ・以上のような組織と人員体制の強化を図り、「子育てするなら燕市で」と評価される施策を全庁挙げて総合的に展開していきます。

